

# トレースチェック PLUS

ご使用前にこの添付文書をよくお読み下さい。

## 「内容」

- ① ヒト型酵素を使用し、ヒト血清と物理的性状、反応性の類似したコントロール血清です。
- ② 融解誤差の少ない液状凍結品です。
- ③ トレースキャリブ PLUS で検量した、弊社試薬での測定値を表示しています。

## 「内容」

77940 トレースチェック PLUS

Level 1 2 mL × 3本

Level 2 2 mL × 3本

## 「使用酵素」

項目	由来
AST	ヒトリコンビナント
ALT	ヒトリコンビナント
γ-GT	ヒトリコンビナント
CK	ヒトリコンビナント
ALP	ヒトリコンビナント
LD	ヒトリコンビナント
AMY	ヒトリコンビナント
ChE	ヒト血清

## 「対象製品」

弊社 シカリキッドシリーズ、シカフィットシリーズ他。  
対象製品、自動分析装置の詳細については、弊社までお問い合わせ下さい。

## 「使用法」

本品を冷凍庫から取り出し、15～25℃にて20分静置して融解します。完全に融解したことを確認した後、穏やかに10回転倒混和して均一とします。融解後は2～8℃で保存し、24時間以内にご使用下さい。

## 「使用上の注意」

- ① 本品は弊社対象キットについて有効です。
- ② 本品は融解後1回限りの使用とし、再凍結させないで下さい。
- ③ 本品は防腐剤としてアジ化ナトリウムを含有していますので、皮膚等に付着した場合は直ちに大量の水で洗い流して下さい。また、廃棄するときも大量の水で流して下さい。
- ④ 本品はHIV抗体、HCV抗体、HBs抗原、HIV抗原について陰性であることを確認しております。しかしながら、感染性因子を完全に否定できる検査はありません。したがって、取り扱いには患者検体同様に、注意して行って下さい。

## 「貯蔵方法・有効期間」

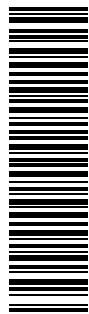
1. 貯蔵方法：-20℃以下で保存する。
2. 有効期間：表示期限まで有効。

## 「問い合わせ先」

関東化学株式会社 ライフサイエンス部  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1  
Tel 03-6214-1091

## 「製造販売元」

関東化学株式会社  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1  
Tel 03-6214-1091



## 『酵素活性値表』 ※、※※

下記酵素活性値は、JSCC/JCCLS 標準化対応法及び IFCC 標準化対応法としての値です。

酵素活性値は、本製造番号の製品のみに有効です。

製造番号： 4 Q 0 8 2 1

使用期限： 2 0 2 5 . 1 2 . 2 0

項目	製品名	測定原理	LEVEL 1		LEVEL 2	
			活性値±不確かさ <sup>注)</sup>	管理限界	活性値±不確かさ <sup>注)</sup>	管理限界
AST	シカリキット <sup>®</sup> AST	JSCC 標準化対応法	36 ± 1.3	34 - 38	191 ± 7.6	181 - 201
	シカフィット AST					
	ラボフィット AST					
ALT	シカリキット <sup>®</sup> ALT	JSCC 標準化対応法	37 ± 1.1	35 - 39	194 ± 5.9	184 - 204
	シカフィット ALT					
	ラボフィット ALT					
γ-GT	シカリキット <sup>®</sup> γ-GT J	JSCC 標準化対応法	38 ± 1.4	36 - 40	204 ± 7.2	194 - 214
	シカフィット γ-GT					
	ラボフィット γ-GT					
CK	シカリキット <sup>®</sup> CK	JSCC 標準化対応法	107 ± 3.1	102 - 112	567 ± 16.5	539 - 595
	シカフィット CK					
	ラボフィット CK					
	シカフィット CK II					
ALP	シカリキット <sup>®</sup> ALP	JSCC 標準化対応法	138 ± 4.7	131 - 145	744 ± 26.0	707 - 781
	シカリキット <sup>®</sup> ALP-IFCC	IFCC 標準化対応法	51 ± 2.0	48 - 54	270 ± 10.9	256 - 284
LD	シカリキット <sup>®</sup> LDH J	JSCC 標準化対応法	72 ± 2.0	68 - 76	377 ± 9.7	358 - 396
	シカフィット LD-IFCC	IFCC 標準化対応法	76 ± 2.4	72 - 80	394 ± 11.6	374 - 414
AMY	シカリキット <sup>®</sup> AMY	G3-CNP 法 (JSCC 標準化対応法)	119 ± 3.5	113 - 125	626 ± 18.6	595 - 657
	シカリキット <sup>®</sup> -N AMY	Gal-G2-CNP 法 (JSCC 標準化対応法)	111 ± 3.3	105 - 117	593 ± 17.6	563 - 623
	シカフィット AMY-G7	Et-G7-pNP 法 (JSCC 標準化対応法)	127 ± 3.8	121 - 133	669 ± 19.8	636 - 702
p-AMY	シカリキット <sup>®</sup> p-AMY	G3-CNP 法 (JCCLS 参考値)	49	47 - 51	256	243 - 269
	シカリキット <sup>®</sup> -N p-AMY	Gal-G2-CNP 法 (JCCLS 参考値)	47	45 - 49	249	237 - 261
	シカフィット p-AMY-G7	Et-G7-pNP 法 (JCCLS 参考値)	53	50 - 56	279	265 - 293
ChE	シカリキット <sup>®</sup> ChE	BZTC 基質法 (JSCC 標準化対応法)	102 ± 1.8	97 - 107	535 ± 9.5	508 - 562
	シカフィット ChE J	pHBC 基質法 (JSCC 標準化対応法)	99 ± 2.4	94 - 104	526 ± 12.9	500 - 552

(単位：U/L)

注) 拡張不確かさ(包含係数  $k = 2$ )

不確かさは表示値の信頼性を表現するものです。

測定結果の判断は、管理限界を参考として下さい。